



いきごみ通信

2012年7月19日 第14号
江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブ
〒132-0033
江戸川区東小松川 3-35-13-204
Tel・Fax : 03-3655-1387
ホームページ : <http://www.ikigomi.jp/>

生ごみリサイクル春季講習会の開催

グリーンパレス(4/21,5/19,6/23)・タワーホール船堀(4/26,5/24,6/28)にて講習会を開催しました

今年度はテキストを改訂してより詳しく、わかり易くなりました。新たに「プランターと腐葉土の堆肥作り」も加えられて、自分に合った作り方で進めていただくよう、発泡箱・コンポスター・段ボール・ジッパー袋の使用・ミズ箱といろいろな方法を紹介いたしました。

- 第1回目 腐葉土を使ったプランターでの堆肥作り
- 第2回目 土を使って発泡箱と、コンポスターの堆肥作り
- 第3回目 ジッパー袋で醗酵する方法と菜園での堆肥作りと元気野菜作り



1,2回目は実演講習を行いました。皆さん熱心楽しく取り組んでおられて、持参の作成中堆肥は臭いも少なく、上手に作っている方が多かったようです。再受講された方は発泡箱での経験もあって、とても状態が良くできていました。

今回から「腐葉土を使った堆肥作り」をしていただきましたが、水分の管理(水分が多い、あるいは乾燥ぎみ)が難しく、虫やダニが発生して、途中で中断して諦めかけた方もいました。分科会ではそんな時の経験や対処方法をお教えして、諦めずに続けていれば、要領をつか

んで、良い堆肥を作ることができるようになるので、頑張ってください。励ましました。

3回目では「ジッパー付ポリ袋で醗酵する方法」の実演と「庭先の小さな菜園や花壇での堆肥作り」や「作った堆肥で元気な野菜作り」についてパワーポイントで紹介。皆さん「自分で作った堆肥を使っての野菜作り」に期待と喜びに気を馳せておられました。すでにいろいろな花や野菜を育てている方々も多く、もっと堆肥作りを知りたい、深めたいという13名の方が入会の申し込みをされました。



分科会風景

秋季講習会の開催日程 「プランターに腐葉土を使った堆肥作り」

グリーンパレス: 9/21(金) 10/19(金) 11/16(金) タワーホール船堀: 9/25(火) 10/23(火) 11/22(木)

「プランターに腐葉土を使った堆肥作り」は今年度から講習会に取り入れた方法です。この方法の特徴は、腐葉土は軽いので簡単に移動できること、分解が早いので臭いの発生が少ない事です。会員の皆様もご参加ください。参加ご希望の方はメール・ファックス・電話でご連絡いただければ、新しいテキストやぼかし等を準備してお待ちしています。電話は不在の場合、名前と電話番号を残してください。



環境フェア2012に出展



6月2日、総合文化センター前広場で行われた環境フェアに出展して、生ごみリサイクルの楽しさや重要性を伝える活動をしました。

集合は8時30分、少し遅めでしたが10年連続の出展ですので準備は慣れています。まずはクラブの^{のぼり}を立て、続いて堆肥作りの方法や活動を紹介する6枚のA1パネルを掛け、テント前に会員提供の300鉢にもなる花や野菜のポット苗を並べると、狭いながらも人目を引くブースとなりました。苗や器材は区のごみ減量係で運んでいただき、パネルは数日前にえどがわ環境財団で印刷していただいたものです。今



ミニ講習の様子



舞台上で堆肥作りの実演

年度は広場に作られた仮設舞台上での堆肥作り講習の時間もいただきました。20分という短い時間でしたが、『プランターに腐葉土を使った生ごみ堆肥作り』の実演を行いました。集まって下さった皆様には会員が育てたインゲンの苗を差し上げ、生ごみ堆肥作りの楽しさを伝えるとともに、生ごみリサイクル夏期講習会への参加を呼び掛けました。テント前でのミニ講習も終日にぎわい、夏期講習へ5名の申し込みがありました。ミニ講習参加者へのお土産は300鉢の苗です。多くの方が生ごみを堆肥化して花や野菜を育てたいと話され、苗はどんどん少なくなり大勢の皆様喜んでいただきました。

テントに立ち寄って下さった方の中には、過去に堆肥作り講習会に参加して今も堆肥作りを続けていると報告して下さった方や、自己流で堆肥作りをしているが分らない事があるので環境フェアで相談しようこの日を待っていたと話される方もあり、同じ場所に毎年展示することの大切さを感じました。

生ごみリサイクルは植物を育てる楽しみに繋がる家庭エコです。「生ごみを捨てるなんてもったいない！堆肥にして花や野菜を育ててみましょう」というごみ減量の呼びかけに応じて下さる方が、少しずつ増えてきていることを実感できた充実の一日でした。

クラブ設立10周年穂高号で行くバス旅行

2012年10月、クラブ設立10周年親睦バス旅行を行います。この旅行は穂高号の企画にグループで参加します。バスの定員は45名、当クラブ以外の参加者が多数です。バスは予定通り出発しますので、同封の案内をご確認の上、遅れないようお願い致します。



実施日：10月13日(土)～14日(日) 穂高荘に1泊。

コース：旧軽井沢・鬼押出し園・昇仙峡

申し込み：男性6名、女性10名です。穂高号は満席となりましたが、あと5名の申し込みがあれば2号車が出ます。

問合せ：電話・FAX：3655-1387 電話は不在の場合メッセージを残して下さい。

メール：ikigomi@ikigomi.jp(携帯からもどうぞ)参加申し込みは8月10日までにお願い致します。

参加費：65歳未満 7,175円 65歳以上 5,425円 ⑤7日前からキャンセル料がかかります。

支払いは部屋ごとにまとめて、夕食時の飲み物代を含めてお支払いください。

* お申し込みの皆様には、①ご利用案内 ②乗車場所のご案内 ③穂高号ご案内(行程の詳細)を同封しましたので、ご確認ください。

甘楽有機農業の見学会

今年の見学先は群馬県の甘楽町有機農業研究会です(11月8日の予定)。

甘楽町と北区は学童疎開が縁で、農業者と区民の交流が平成7年から始まりました。小中学校の給食残渣で作ったコンポストの利用試験から始まり、翌8年から本格始動しました。北区の全小中学校内に設置された生ごみ処理機でそれぞれ処理された未熟堆肥をリサイクル活動拠点に集約、それを毎月1回、甘楽町から直売野菜を配送の帰路に持ち帰る仕組みが確立されました。現在はそれに加え「甘楽ふるさと農園」を開設、体験型市民農園として北区民も利用して交流を楽しんでいるとのこと。



実際の見学では、北区から運ばれてくる給食残渣を醗酵させる堆肥場、その有機肥料を使ったトマトなどの畑(圃場)の見学。昼食は、道の駅に隣接する古民家で甘楽町名物の「信雄弁当」をいただきます。食後には、同研究会の会長の新井さんがパワーポ

イントで堆肥の醗酵や作物のこと等を説明予定です。視察の訪れる団体の多い中、私たちを快く受け入れてくださいます。給食残渣を再利用堆肥化して作った野菜を区民が産直市で喜んで買う。区民との農業者が交流農園で交流できるという都市と農村のつながりを、江戸川区でもお手本にしたいと思いました。“農業者の方から直接お話を聞けるチャンスです、一緒に参加しませんか。”(K.I)



国指定名勝 楽山園

「第17回東京23区とことん討論会 in 江戸川」に参加しましょう

8月22日 タワーホール船堀小ホール他

ごみの焼却を減らし循環型社会を目指そうと始められた「多摩とことん討論会」に習って、96年から始められた「東京23区とことん討論会」は回を重ね、今年17回目は江戸川区で開催されます。

昨年大田区で開催された第16回討論会では、私が生ごみ問題の分科会で、当クラブの活動を報告、とりわけ千人以上の受講生を出したという実績に注目が集まり、日野市のせせらぎ農園の皆さんや江東区の皆さんとの交流も生まれました。江東区では今年度から区主催の生ごみ堆肥化講習会を開催していますが、今年の討論会では、江戸川区の経験に習って市民と行政が連携して行う生ごみ堆肥化講習会を23区に広げようと意気込んでいます。なぜなら、家庭から出される可燃ごみの半分は生ごみなので、これを全て堆肥化すれば、可燃ごみを半減できるということで、「これぞ東京23区ごみ減量の鍵」として第1分科会を進めようとしています。

今年度は江戸川区での実施ということで、私佐藤が実行委員会の委員長を務めております。また、実行委員会の事務局は、いきごみクラブの姉妹団体とも言うべき「江戸ものづくりサロン」になっており、事務所の机も隣り合わせです。事前申込みの受付や8月22日当日の受付業務の手伝いなど、御願ひすることが多いかと思ひます。何よりも、お友だち、お知り合いに広く声をかけて、タワーホール船堀小ホールの定員300名をいっぱいにするためにご協力をよろしく御願ひします。

代表世話人 佐藤 正兵

私の菜園

生ごみ堆肥作りを始めてから、まもなく5年になります。思い起こせば我が家の狭い庭には山土が入っていて、ガッチガッチで小石もゴロゴロ、耕しても作物が出来そうもない状態でした。第六葛西小(実験菜園)の様なフカフカした土作りがしくて、生ごみ堆肥作りに挑戦しました。



けれど、生ごみ堆肥作りを始めた当初は、決して簡単ではなかった。堆肥を使用できるまでには時間がかかる上に、特有の匂い・虫・それに伴う置き場所と難題山積でした。それでも試行錯誤のすえ、猫の額ほどの庭に腐葉土と出来た堆肥・燻炭等を入れ続けて4年、や

っと少しずつ改善してきています。我が家では、昔からゴーヤは作っていて50~60本は収穫していたが、堆肥を入れてからは90本、昨年は130本と確実に増えてきています。今年の夏もゴーヤはもちろんですが、インゲン・モロヘイヤ・キュウリ・トマト・勝手に出たピーマン・ヘチマと・・・花々が密集して、目を楽しませてくれその緑で気持ちも和みます。なお、一年を通して虫の付きにくい作物、ミックスレタス・ニラ・小ネギ・シュンギク・ラッキョウ・パセリ・イチゴなどをプランターで手軽に作っています。今後は、あの米袋の大根にも挑戦する予定です。



最近では、生ごみ堆肥作りも自分流を見つけて、本当に楽しい生ごみ堆肥作りです。(A.Y)

六葛西実験菜園の最近の活動



第六葛西小学校(略して、六葛西)の校庭の一部(約2m×6m)をお借りして行っている実験菜園の2012年上期の活動を報告します。

1月11日に、ほうれん草、カブ、レタス、菜の花の種を蒔き、3月11日にほうれん草などの間引きを行いました。この時に、畑土の放射線を測定したところ、0.1~0.12 μ Sv/hrと、概ね江戸川区の平均的な値でした。今後も、どのように変化していくか、折に触れ、測定していこうと考えています。

4月16日にほうれん草、菜の花の収穫、5月7日にカブ、レタスの収穫を行いました。

播種の時期が遅かったことと、今年の冬は寒かったので、育ち具合が心配でしたが、暖かくなるにつれ、ぐんぐんと成長し、新鮮で驚くほどおいしい野菜を食べることができました。野菜に感謝!

5月16日に、サツマイモの蔓苗の定植とトウモロコシの播種を行い、5月29日と6月30日には、サツマイモとトウモロコシの土寄せを行いました。

6月の台風4号の猛烈な雨と風の被害を心配しましたが、思ったほどのことはなく、一安心です。

収穫の喜びは何にも代えがたいものがありますが、そのほかの時も、作業の後は、皆で昼食を食べながら、親睦を深めています。皆さんも菜園作業と一緒に楽しみませんか。多くの方の参加をお待ちしています。(T.M)



編集後記

江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブが設立されて、今年で10年を迎えました。多額の税金をかけて処理する家庭の生ごみを土にもどし、“植物を育て・楽しむ”ことを区民に呼びかけ、広める活動を地道に続けてこられた会員の努力に、入会間もない者として敬意を抱きます。これからも多くの仲間と共に、夢のコミュニティーガーデンを実現できるように、楽しみながら活動していきたいと思えます。(R.K)